

## 令和6年2月定例会 県土都市整備委員会（急施議案）の概要

日時 令和6年2月27日（火） 開会 午後2時53分  
閉会 午後3時37分

場所 第9委員会室

出席委員 杉田茂実委員長  
橋詰昌児副委員長  
森伊久磨委員、金子裕太委員、美田宗亮委員、内沼博史委員、立石泰広委員、高橋政雄委員、田並尚明委員、井上航委員、中村美香委員、松下昌代委員

欠席委員 なし

説明者 [県土整備部関係]  
金子勉県土整備部長、武澤安彦県土整備部副部長、吉澤隆県土整備部副部長、中須賀淳参事兼河川砂防課長、加来卓三県土整備政策課長、飯塚雅彦県土整備政策課政策幹、木村暢宏建設管理課長、赤沼知真用地課長、根岸幸司道路街路課長、水谷信哉道路環境課長、田島清志河川環境課長、関口圭市収用委員会事務局長

[都市整備部]  
山科昭宏都市整備部長、坂田直人都市整備部副部長、若林昌善都市整備部副部長、坂行正都市整備政策課長、小野寺貴郎市街地整備課長、鈴木水弘公園スタジアム課長、吉岡一成都市計画課長、石川修産業基盤対策幹、山田暁子建築安全課長、牧野秀昭住宅課長、松井直行営繕課長、小久保賢一設備課長

### 会議に付した事件並びに審査結果

#### 1 議案

| 議案番号 | 件名                                       | 結果   |
|------|--|------|
| 第53号 | 令和5年度埼玉県一般会計補正予算（第6号）のうち県土整備部関係及び都市整備部関係 | 原案可決 |
| 第54号 | 急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の児玉郡神川町の負担額について          | 原案可決 |

#### 2 請願 なし

**【付託議案に対する質疑（県土整備部関係）】**

**森委員**

- 1 国の防災減災国土強靱化による補正予算であるが、道路事業及び河川事業の15事業を行うことでどのような効果があるのか。
- 2 国土交通省では、それぞれの事業において修繕措置率に対する達成目標が掲げられているが、この15事業の遂行によって、県事業における達成目標にどこまで近づくのか。

**道路環境課長**

- 1 社会資本整備総合交付金（橋りょう維持）事業では、主要地方道保谷志木線・いろは橋など13橋において耐震補強工事を実施し、地震時の橋桁の落下を防止する対策や、橋脚補強を行う。補正予算を活用し、工事を前倒しして実施することで、早期に利用者の安心安全を確保する。

**参事兼河川砂防課長**

- 1 河川事業では、水災害が激甚化・頻発化していることを踏まえ、あらゆる関係者が協働して取り組む流域治水を実施する予算を計上している。具体的には、九十九川調節池整備における用地買収や、飯盛川排水機場の増設工事などを進める予定であり、補正予算を活用することで、整備の前倒しが可能となり、早期に効果を発現することができる。

**県土整備政策課長**

- 2 国土交通省が示す達成目標に関しては、後ほど、資料を提出する。

**森委員**

道路事業において、防災減災、国土強靱化に資する効果は何か。

**道路街路課長**

道路改築事業の県道越谷野田線の田島工区では、補正予算を活用することにより、令和7年度春の開通が公表されている東埼玉道路の整備に合わせ、同時供用することで事業効果を図るものである。

**道路環境課長**

橋梁の修繕は、国道254号の川越市内に位置する落合橋ほか28か所を計上している。橋梁の老朽化による損傷状況に応じて、計画的な修繕を実施するものであり、工事の前倒しで、早期に道路利用者の安心安全を確保する。

**森委員**

道路改築事業は、防災減災、国土強靱化における国の整備指標とどのように合致しているのか。

## 道路街路課長

国道254号などの幹線道路の整備により、災害時の物資の輸送、避難路の確保などの効果があり、緊急輸送道路の整備として国土強靱化に寄与するものである。

## 金子委員

- 1 第54号議案で、町の負担はいくらか。また、いつ完成するのか。
- 2 危険箇所は、地震への対策も加味して精査されているのか。

## 参事兼河川砂防課長

- 1 急傾斜地崩壊対策事業費は、全体として今回の補正予算で4か所計上しており、合計額は2億200万円である。町の負担は、これに基づき負担割合を乗じた1,010万円である。また、令和6年度内の完成を目指して事業を進める。
- 2 県内で急傾斜地崩壊の危険性がある区域は、約3,600か所ある。このうち、特に斜面の高さが10メートル以上で、斜面が崩れた場合、公共施設や人家10軒以上の保全対象があり国の交付金の採択基準を満たすか所は約600か所あると把握している。

## 金子委員

- 1 600か所のうち対策がとられているのは何か所か。
- 2 早めに対策をする必要があると考えるが、年間どのくらいのペースで対策をするのか。

## 参事兼河川砂防課長

- 1 事業が完成したか所は、約120か所である。
- 2 現在の事業ペースは、年に2、3か所ずつ進めている。地元の要望があり、守るべき施設が多いところから進めている。

## 松下委員

- 1 第54号議案で、町の負担額が大きいと事業の実施が難しくなることが懸念されるが、どのような対策をしているのか。
- 2 この事業は砂防関係施設整備計画に基づいて進めていると思うが、計画通りに進んでいるのか。

## 参事兼河川砂防課長

- 1 この事業は、地元自治体から要望等があった場合、事業費や負担額の概算などを示しながら調整し、同意を得た上で事業を進めている。また、危険か所については、土砂災害警戒区域や建物の規制がかかる土砂災害特別警戒区域の指定などのソフト対策もしっかりと行い、地域の安全・安心を確保していく。
- 2 県では、令和3年3月に埼玉県砂防関係施設整備計画を策定し、これに基づいて、短期及び中長期に分類して取組を進めている。

---

## 【付託議案に対する質疑（都市整備部関係）】

### 森委員

つくばエクスプレス沿線地域整備推進費について、この時期に急施として計上している理由は何か。

### 市街地整備課長

八潮南部西地区は、宅地供給も8割以上進み、事業終盤に差しかかっている。補償交渉の進捗状況により工事可能な場所が限られているが、その中でも早期に工事着手可能な箇所について国の補正予算を要望した。主な事業の内容は、道路整備は、物件移転が完了して前倒し整備が可能となった区画道路5路線、約380メートルの工事を実施するものである。また、平成30年度から4号調整池の整備に着手しており、順次、地盤改良、鋼矢板の設置、施設の整備と継続して進めており、今回は地区内の雨水を引き入れるための流入施設の工事を前倒し整備するものである。

### 森委員

新年度予算にも計上されているが、今回の補正は、前倒しして行う事業ということか。

### 市街地整備課長

調整池は、さきの12月議会においてもゼロ債務予算を設定した。これに引き続き、切れ目なく工事を進めるために必要な予算である。また、区画道路においても、既に補償交渉が完了したか所について、速やかに地権者に事業による受益を享受いただくため、早期に整備を行うものである。

### 金子委員

秩父ミュージックパークの施設の改修は、全国植樹祭に関連して音響設備等を入れ替えるものなのか。また、この改修によって期待される効果は何か。

### 公園スタジアム課長

今回は、音楽堂とトイレの改修を行うが、長寿命化計画に基づいて施設の改修を実施するものであり、施設の機能アップは含まれない。全国植樹祭に使われる予定の施設であることから、早期に完成させて開催の準備が順調に進むよう公園としても協力していく。

---

## 【付託議案に対する討論】

なし